

腎泌1：腎の生理、体液電解質の異常

日時：9月5日（木） 2時限

担当者：天野 博明(腎臓内科)

内容：

腎の生理と内分泌機能、および体液・電解質・酸塩基平衡の異常（令和1年度～令和5年度医師国家試験問題を利用したまとめ）

1. ネフロンの機能を説明できる。
2. 利尿薬の作用を説明できる。
3. レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系を説明できる。
4. 抗利尿ホルモンを説明できる。
5. 体液組成（浮腫と脱水）を説明できる。
6. NaとKの異常を説明できる。
7. 酸塩基平衡異常を説明できる。
8. Ca代謝を説明できる。

キーワード：

浮腫、脱水、Na、K、酸塩基平衡、Ca、尿細管機能、利尿薬、レニンアンジオテンシン系、抗利尿ホルモン

教科書：

◆ NEW エッセンシャル腎臓内科学（医歯薬出版）（p15-41）

備考：

当日、授業スライドのプリントアウトを資料として配布します。

準備：

教科書を通読してくることが望ましい。（20分）

腎泌2：泌尿器、生殖器腫瘍

日時：9月12日（木） 4時限

担当者：城武 卓(国セ 泌尿器腫瘍科)

内容：

腎癌、尿路上皮癌、膀胱癌、前立腺癌

その他の腫瘍（精巣癌、陰茎癌）

1. 国家試験の過去問題などを用いながら、実臨床に即した形で検査、診断、治療と立案計画が出来る思考を養う。 1. 腎細胞癌（★D-8-4-9）について理解し、説明できる。 2. 尿路上皮癌（膀胱癌、腎盂・尿管癌：★D-8-4-9）について理解し、説明できる。 3. 前立腺癌（★D-9-4-3）について理解し、説明できる。 4. 精巣腫瘍（★D-9-4-3）について理解し、説明できる。
2. 上記の腫瘍は過去に国家試験に出題されたものである。知識を覚える講義ではなく、試験問題の文章から、如何にして診断を予想し、鑑別診断を念頭に置きながら検査を立案し、治療を選択していくか・・・その思考過程を身に付けることを学ぶ。【キーワード】 1. 腎癌:renal cell carcinoma 2. 尿路上皮癌（膀胱癌、腎盂・尿管癌）:urothelial carcinoma (bladder, renal pelvis, and ureteral carcinomas) 3. 前立腺癌 (prostate carcinoma) 4. 精巣腫瘍 (testicular tumor) 5. 各腫瘍性疾患の症候：無症候性血尿 (asymptomatic hematuria)、腫瘍 (abdominal or testicular tumor)、PSA (prostate specific antigen) 6. 各腫瘍性疾患の診断：生検 (biopsy)、画像検査 (imaging: CT or MRI) 7. 各腫瘍性疾患の治療：手術 (surgery)、放射線療法 (radiotherapy)、抗がん剤治療 (medications: 化学療法 (cytotoxic chemotherapy)、分子標的治療薬 (molecular targeted therapy)、免疫チェックポイント阻害剤 (immune checkpoint inhibitor)、内分泌療法 (hormonal therapy))

準備：

事前に予習を最低 60 分はするように。

既に系統講義は終了していることから、泌尿器科癌の一般的知識があることを前提とした実臨床に即した考え方を養う。

参考図書：標準泌尿器科学

腎泌 3：原発性腎疾患

日時：9 月 13 日（金） 3 時限

担当者：天野 博明(腎臓内科)

内容：

腎臓の病理と原発性腎疾患（令和 1 年度～令和 5 年度医師国家試験問題を利用したまとめ）

1. 腎臓のマクロ・ミクロ解剖を説明できる。
2. 血尿と蛋白尿を説明できる。
3. 糸球体病変を説明できる。
4. 急性・慢性糸球体腎炎を説明できる。
5. 特発性ネフローゼ症候群を説明できる。
6. 尿細管間質病変を説明できる。

キーワード：

血尿、蛋白尿、腎生検、臨床症候分類、糸球体腎炎、尿細管間質腎炎、selectivity index

教科書：

◆ NEW エッセンシャル腎臓内科学（医歯薬出版）(p1-14, 105-190)

備考：

当日、授業スライドのプリントアウトを資料として配布します。

準備：

教科書を通読してくることが望ましい。（20 分）

腎泌 4：下部尿路症状と尿路結石

日時：9 月 17 日（火） 3 時限

担当者：朝倉 博孝(泌尿器科)

内容：

1. 下部尿路症状を呈する疾患は、前立腺肥大症、神経因膀胱、尿失禁、尿路結石、尿路感染症など多岐にわたる。下部尿路症状を呈する疾患を提示し、鑑別診断、治療につき概説する。
 2. 尿路結石は、上部尿路結石(腎・尿管結石)と下部尿路結石(膀胱結石)にわかれる。上部尿路結石の症例を提示し、病態および治療について概説する、し、その
 3. 尿路外傷(腎外傷、膀胱損傷、尿道損傷など)の症例を提示し、鑑別診断・治療につき概説する。
- コアカリ PS-02-09-05 生殖器系に関する疾患・病態について、病因、症候、検査、診断、治療法を理解している。

キーワード：

下部尿路症状、前立腺肥大症、尿閉、過活動膀胱、尿失禁、頻尿、夜間頻尿、尿路結石、尿路外傷

教科書：

◆ 標準泌尿器科 医学書院 196-215, page151-170, page140-150

参考書：

◆ Campbell-Walsh Urology, 11th Ed

準備：

症例問題が解けるように基本的な知識を整理しておくこと（30 分）

腎泌5：尿路感染症とアンドロロジー

日時：9月24日（火） 1時限

担当者：朝倉 博孝(泌尿器科)

内容：

尿路感染症、性感染症、アンドロロジー

1. 尿路感染症を上部尿路感染症と下部尿路感染症に分けて講義する。
2. 性感染症は、リン病、クラミジア、梅毒などがあり、それらについて講義する。
3. アンドロロジーは、いわゆる勃起不全に伴う性機能障害と男性不妊の2つの分野にわける。2つの分野に分けて、基礎知識を説明し、具体例についても説明する。

コアカリ PS-02-09-05 腎・尿路系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解する。

キーワード：腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺炎、精巣上体炎、腎膿瘍、淋病、クラミジア、梅毒、性機能障害、男性不妊

教科書：標準泌尿器科学 page183-195, page278-282, page283-288,

予習：上記キーワードについて、調べ、理解していること。(2時間)

復習：講義資料の再読。

準備：

症例問題が解けるように基本的な知識を整理しておくこと (30分)

腎泌6：全身疾患と腎

日時：9月26日（木） 1時限

担当者：天野 博明(腎臓内科)

内容：

全身疾患に続発・合併する腎疾患（令和1年度～令和5年度医師国家試験問題を利用したまとめ）

1. 糖尿病性腎臓病を説明できる。
2. 自己免疫疾患・血管炎の腎障害を説明できる。
3. 多発性骨髄腫とアミロイドーシスによる腎障害を説明できる。
4. アレルギー性腎疾患を説明できる。

キーワード：

糖尿病性腎症、ループス腎炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、骨髄腫腎、アミロイドーシス、アレルギー性間質性腎炎

教科書：

◆ NEW エッセンシャル腎臓内科学（医歯薬出版）(p191-278、290-302)

備考：

当日、授業スライドのプリントアウトを資料として配布します。

準備：

教科書を通読してくることが望ましい。(20分)

腎泌7：腎不全 透析治療

日時：9月26日（木） 2時限

担当者：天野 博明(腎臓内科)

内容：

AKI, CKD および末期腎不全・透析治療（令和1年度～令和5年度医師国家試験問題を利用したまとめ）

1. 急性腎障害（AKI）を説明できる。
2. 慢性腎臓病（CKD）を説明できる。
3. 末期腎不全・尿毒症を説明できる。

4. 腎代替療法を説明できる。

キーワード：

AKI、CKD、末期腎不全、尿毒症、血液透析、腹膜透析、腎移植

教科書：

◆ NEW エッセンシャル腎臓内科学（医歯薬出版）（p74-104）

備考：

当日、授業スライドのプリントアウトを資料として配布します。

準備：

教科書を通読してくることが望ましい。（20 分）